

第52回(令和元年度)「医学研究助成」対象者

- 研究課題
1. ビッグデータ解析による地域医療の実態解明
 2. アブゼンティズムとプレゼンティズムの治療
 3. 脳卒中後てんかん
 4. 肝切除に於けるRCT(鏡視下VS開腹下)

(課題別五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	琉球大学大学院医学研究科 助教 芦刈 明日香	IoT デジタルヘルスデバイスを用いた排尿モニタリングシステムと生活習慣病発症予測因子の探索
1	山形大学大学院医学系研究科 助教 池田 登顕	急性期医療体制の集約化と医療アクセシビリティの入院後死亡への寄与は、疾患ごとにどの程度異なるのか:山形県DPCデータを用いたクロス分類マルチレベル分析
1	東京都立多摩総合医療センター 医長 太田 貴裕	東京都における急性脳主幹動脈閉塞症に対する血管内治療の実態調査と新たな救急搬送体制確立
1	京都大学大学院医学研究科 教授 川上 浩司	地域包括ケア病棟における診療実態およびPoint of Careリハビリテーションと患者予後の関連性評価:DPCデータベースおよびアンケートを用いた過去起点コホート研究
1	新潟大学大学院医歯学総合研究科 特任准教授併任 児玉 暁	尿中塩分排泄量を用いた減塩プロジェクトによる高血圧、脳卒中患者激減への挑戦
1	大阪医科大学 教授 玉置 淳子	ナショナルデータベースを活用した骨粗鬆症性骨折前後における骨粗鬆症治療変化のリアルワールド実態解明
1	川崎医科大学 講師 長洲 一	Real World Data 用いたDeep Learning解析による腎疾患進展・予後予測因子解析
1	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 野中 文陽	五島市における医療・介護・調剤・健診の連結ビッグデータを用いた高齢2型糖尿病患者の要介護予測因子の解析
1	高知大学 特任講師 福田 仁	急性期脳梗塞患者の医療機関受診遅延要因に関するネットワーク分析
1	順天堂大学 准教授 藤林 和俊	ビッグデータ解析による地域医療の実態解明
1	大阪国際がんセンター 副部長 森島 敏隆	がん医療提供体制の最適化を目指すがんの診療と治療アウトカムと患者の病態の実態解明
1	大阪大学大学院医学系研究科 講師 山本 陵平	大阪府のレセプト・健診一体型ビッグデータに基づく効果的な生活習慣病の重症化予防策の提案
2	山梨大学 講師 石黒 浩毅	カンナビノイドシステムの網羅的解明による環境ストレス脆弱性の予測方法の確立
3	久留米大学 講師 菊池 清志	AMPK活性化作用を有する生体内希少単糖は、脳卒中後てんかんにも有効か?
3	横浜市立大学 助教 北澤 悠	急性期脳波解析に基づく脳卒中後てんかんの発症予測および予防法の開発
3	三重大学大学院医学系研究科 教授 鈴木 秀謙	くも膜下出血におけるてんかん原性獲得機序の解明
3	自治医科大学 講師 瀬原 吉英	一過性全脳虚血後における異常シナプス形成の発生機序
3	国立保健医療科学院 上席主任研究官 橋 とも子	脳卒中後てんかん患者の社会生活を支援するための、セルフマネジメントプログラムの開発評価に関する研究
3	国立循環器病研究センター 医師 福岡 一樹	脳卒中後てんかんの発症・重症化の機序解明と治療法への応用

第28回(令和元年度)「医学研究特別助成」対象者

(第50回(平成29年度)「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題
1. Frailの予防
 2. 心不全増悪予防の在宅・遠隔医療の成績
 3. 小児のメンタルヘルスケア
 4. PD-1抗体使用適応と成績

(課題別五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	日本医科大学 教授 大石 由美子	筋と骨に共通した運動器機能不全の分子機構の解明
1	北里大学 講師 神谷 健太郎	心不全患者のフレイル予防に必要な身体活動水準の解明
3	慶應義塾大学 特任講師 野田 賀大	小児のメンタルヘルスケアに資する生物学的診断補助システムの開発
4	東京大学大学院 特任准教授 岡本 一男	がん骨転移に対するPD-1阻害効果の増強法開発